

日本脊椎関節炎学会誌〈投稿規定〉

2023年9月改訂.

1. 編集方針

日本脊椎関節炎学会誌 (Journal of Japan Spondyloarthritis Society) は日本脊椎関節炎学会の機関誌として、脊椎関節炎およびそれと深い関連を有する事項に関する基礎的および臨床的研究を発表する。雑誌はオンライン化し、学会誌配信サービス メディカルオンライン (株式会社メテオ) を利用する。

2. 投稿資格と条件

投稿論文は、他誌に発表されていないものとし、本会員はすべて本会誌に投稿することができる。更に、投稿は学会員でなくても可能である。但し、「原著」と「症例報告」については責任著者または筆頭著者は学会員に限る。

3. 論文の種類

総説、原著、症例報告、集会 (厚生労働省班会議、日本医療研究開発機構AMEDなど)、会報 (学会抄録集)、雑報 (その他の原稿) とする。また、編集委員会は本学会の目的に添う原稿を依頼することができる。

4. 論文の採否

論文の採否は複数査読者の意見を参考にし、編集委員会において決定する。

5. 総説

総説は原則として編集委員会が企画し依頼するが、投稿も受け付ける。

6. 原著

基礎的或いは臨床的研究に基づく新発見であり、独創的にして未発表のものでなければならない。原稿は原則として本文 (引用文献を含む) 12,000字以内とし、表、図 (写真) は総計15枚以内 (図表1点400字) とする。欧文でも受け付ける。本文 (引用文献を含む) 5,000 words 以内とし、表、図 (写真) は計15点以内とする。

7. 症例報告

専門医を含め実地臨床医に有益な症例に関する報告を本欄に投稿することができる。原則として本文 (引用文献を含む) と図表を合わせて6,000字以内とし、図表は1枚400字として換算する。欧文でも受け付ける。本文 (引用文献を含む) 2,500 words 以内とし、図表は計5点以内

とする。

8. 集会

集会記録は、会議の班長あるいは座長によるまとめ (討論内容を含めた) を集会原稿として受け付ける。

9. 補冊

定期号のほかに補冊を発行できる (但し、編集委員会にて検討し、理事長の承認を得る)。

10. 論文の構成

- a. 原著論文は、(1) タイトル、(2) キーワード (五十音順)、(3) 和文抄録、(4) 緒言、(5) 研究対象、方法、(6) 結果、(7) 考察、(8) 結語、(9) 謝辞、(10) 倫理的配慮 (倫理審査の有無、利益相反の有無と開示、患者同意取得の有無、適応外薬品使用の施設内手続きの有無等)、(11) 文献、(12) 図・表の説明文、(13) 英文抄録 (英文タイトル、英文著者名、英文所属、英文抄録、英文キーワード [ABC順]) の順序で構成する。
- b. 症例報告は (5)、(6) を症例提示として記載する。
- c. 総説は (1) タイトル、(2) キーワード、(3) 和文抄録、(4) 緒言、(5) 本文、(6) 謝辞、(7) 倫理的配慮、(8) 文献、(9) 図・表の説明文、(10) 英文抄録の順序で構成する。

11. 原稿の作成

原稿の作成にあたっては、医学雑誌編集者国際委員会 (International Committee of Medical Journal Editors: ICMJE) の「生物医学雑誌への統一投稿規程」に原則として準拠する。

原稿は以下の要項に従って記載する。

【記述】

文章は簡明に記載する。現代かなづかい、かな交り、横書きとする。英文は半角とする。数字は算用数字 (半角) とするが、成語はそのまま用いる (例: 一般, 同一, 1回, 1度)。句読点は本文・図表ともカンマ・ピリオド (「,」 「.」, 和文では全角, 欧文では半角) とする。使用フォントは本文・図表ともMS明朝, Times New Romanを用いる。

【表紙】

原稿には表紙をつけ、①論文の種類、②和文および英文の表題 (タイトル)、③著者名・責任著者名・所属機関名・代表者連絡先・住所・e-mail アドレス・電話番号、④本文 (文献を含む) の文字数、図・表・写真の点数を書く。所属機関名は、著者名に肩番号 (上付き番号) を付し

て表記する。表題には略語を用いない。サブタイトルはできるだけ1行以内におさめる。

【論文の種類】

「総説」「原著」「症例報告」「集会」「補冊 (Supplement)」を記す。

【抄録 (要旨)】

総説, 原著, 症例報告には400字程度の簡明な和文抄録と, それに対応する英文抄録 (250語以内) を必要とする。抄録は, 背景・目的 (Background), 方法 (Methods), 結果 (Results), 結語 (Conclusion) などに分けて記載する。但し, 症例報告は必ずしも structured abstract でなくてもよい。

【キーワード/Keywords】

5個以内のキーワード (Keywords) を五十音順 (ABC順) に記載する。

【文献】

バンクーバー方式による。引用順 (出現順) に番号を付けて論文末尾の引用文献と関連付ける。引用箇所には肩番号 (上付き番号) を付け, 引用文献に引用順に列記する。

注:

1. 著者が3名を超える場合は, 筆頭3名を記し, 以下を「ほか」あるいは「et al.」とする。
2. 欧文誌名は Index Medicus 採用の略称に準拠する。和文誌名は公式の略称を使用する。
3. 文献の表題は副題 (サブタイトル) までを含む。
4. 学会発表のみのものを文献として引用する場合は, 学会誌に抄録として掲載されたものを採用する。

雑誌:

著者名, 論文名, 雑誌名, 年; 巻数: 開始頁-終了頁。

書籍:

著者名, 書籍名, 出版地: 出版社; 年, p. 開始頁-終了頁。

例:

- 1) 辻本正記, 七川欽次, 白倉良太. 強直性脊椎炎と HLA-B27. 整形外科. 1975; 26: 104-108.
- 2) Yamaguchi A, Tsuchiya N, Mitsui H, et al. Association of HLA-B39 with HLA-B27-negative ankylosing spondylitis and pauciarticular juvenile rheumatoid arthritis in Japanese patients. Evidence for a role of the peptide-anchoring B pocket. Arthritis Rheum. 1995; 38:

1672-1677.

- 3) Fitzgerald O. Psoriatic arthritis. In: Firestein GS, Budd RC, Gabriel SE, et al, editors. Kelley's Textbook of Rheumatology, 9th edition. Philadelphia: Elsevier Saunders; 2013, p.1232-1250.

【留意点】

1. 見出しのランク付けを明らかにする。番号が必要な場合は, 1. → 1) → a. → a) の順とする。
2. 数字の範囲を表す場合は, 「~」または「-」とする (ただし文献の頁数の範囲はハイフン「-」を使用する)。タイトル内で「~」または「-」を用いる場合は著者に確認する。
3. コロンは, 英文に続く場合は「英文コロン: スペースアキ」とし, 和文に続く場合は和文コロン「:」とする。図説明の a, b の後は和文コロンとする。
例: 脊椎関節炎 (spondyloarthritis: SpA)
プロダルマブ: 米国食品医薬品局 (FDA) により承認された抗IL-17受容体抗体。
4. 略語はキーワードのほか, 初出のものは全綴りの後 () 内に記し, 原則として新しい略語を用いない。ただし, 止むを得ない場合は国際刊行物を参照し, 適切な略語を選ぶこと。 () は英文・和文ともに全角とする。
5. 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原語そのままを用いる。動物, 植物, 細菌などの学名はイタリック体にする。命名法によって属名の頭文字は大文字にする。
6. 文中の外来語は固有名詞 (人名, 商品名など) を除き, 原則として小文字を使用する。
7. 用語は「リウマチ学用語集」「整形外科学用語集」「内科学用語集」, 薬剤名は「日本医薬品集」や添付文書に準じて記載する (商品名を記載する必要がある場合には初出時に一般名に続けて上付きで® を記載する)。
8. 度量衡の単位には, m, cm, mm, μ , nm, pm, L, mL, μ L, kg, g, mg, μ g, ng, pg などを用いる。
9. 図・表の題名および説明。和文で記す (例: 表1, 図1 [写真を含む])。表の題名は表の上部に, 説明文は下部に簡明に記載する。図の題名・説明文は図の下部に記載する。出典を記す。例: (文献1より引用)。
10. 既発表の図 (写真を含む), 表, その他を引用・転載

する場合には、あらかじめ著作権所有者の許可を得ること、出典を明記する。

11. グラフ・フローチャート・シェーマに着色する場合は、着色内の文字の可読性に留意する。

【個人情報保護・患者保護の観点】

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」[厚生労働省 令和3年3月23日(令和4年3月10日一部改正)]に従って、当該施設の倫理委員会の承認を得て行い、その旨を方法の項に記載する。また、臨床研究を行う過程で症例報告を含めて患者の同意を取得する必要がある。症例報告において患者または代諾者から同意取得できない場合は、当該施設の倫理委員会の承認を受けなくてはならない。

【ヒトを用いた実験及びヒトゲノム・遺伝子解析に関する研究について】

ヘルシンキ宣言を遵守し、当該施設の倫理委員会の承認を得て行い、その旨を方法の項に記載する。

【動物実験について】

日本学術会議の動物実験の訂正な実施に向けたガイドライン(2006年6月1日)に従って行い、その旨を方法の項に記すこと。

上記に反した原稿は掲載されない。また、出版後に反している事実が判明した場合も掲載削除される。掲載に関する上記の如何なる問題に関しても、その責任は著者にあり、当学会はそれを負わない。

12. 電子メディアでの提出

論文はWindowsまたはMacintoshで作成されたファイルにより提出する。本文はWordファイルとして、表はExcelまたはWordで作成したファイルとして、図版(グラフ・シェーマ・写真)はJPEG・TIF・EPS形式もしくはMicrosoft PowerPointファイルとして提出する。図に文字が含まれる場合は可読性が保たれる文字サイズとする。図・表の使用フォントは本文同様、MS明朝、Times

New Romanを用いる。グラフ図の軸語の文字色は黒100%とする。本文・表にはPDFを添える。

メディアの表面に著者名、使用OS、Wordのバージョン、図・写真のソフト名、バージョンを明記する。

採用決定後、提出された図・写真の解像度によっては高解像度のファイル(300dpi以上)などの提出を求められることがある。

13. 利益相反に関する開示書の提出

投稿論文の研究について、他者との利害関係の有無を記載した利益相反(conflict of interest)に関する開示書(別紙規定書式)を提出する。本書類は論文の採否には影響しないが、論文が本会誌に掲載される際に明記される。

14. 原稿の送付

電子メディア1部をメールにて送付記録が残る方法で送付する。投稿者が原稿をメール送信する際、CCを利用して同時に確認送信し、その受信記録を残しておくことも1つの方法である。

送付先：日本脊椎関節炎学会事務局 宛
株式会社 プラスエス・アカデミー内
〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町3
シュライククリエイティブセンター 201
Tel：072-275-5723 Fax：072-275-5724
e-mail：jsas@plus-s-ac.com

15. 校正

査読終了後、図表を配置した最終版で著者校正を1回行うものとする。

16. 掲載料

掲載料は無料とする。

17. 別冊

日本脊椎関節炎学会会員は、PDF化した掲載論文をホームページからダウンロードできる。ただし、会費納入者に限る。

18. 著作権

掲載論文の著作権は本学会に帰属する。